

平成25年度第5回宮前区区民会議

平成25年度 第5回 宮前区区民会議

1 日 時 平成25年 5月15日（水）午後6時20分

2 場 所 宮前区役所 大会議室

3 出席者

(1) 委 員 直本委員長、宮崎副委員長、黒沢副委員長、平井委員、田浪委員、豊島委員、大槻委員、白井委員、芒崎委員、太田委員、岡委員、佐々木委員、山下委員、藤田委員、福田委員

(2) 参 与 竹田参与、石川参与、持田参与

(3) 事務局

4 議 事

① 中間報告書について

② 審議経過報告について

③ 部会審議内容に関して質疑応答・意見交換

④ 区民会議フォーラムの振り返り

5 傍聴者数 2人

午後6時20分開会

司会（日下部） 改めまして、皆さんこんにちは。時間を少々オーバーしておりますけれども、ただいまから区民会議を開催させていただきたいと思います。

進行を務めさせていただきます区役所副区長の日下部でございます。どうぞよろしくお願いたします。

まず、会議の開催に先立ちまして事務連絡をさせていただきます。本日の会議は川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして公開とさせていただいております。したがって、傍聴、報道機関等の取材許可をいたしております。御了承いただきたいと存じます。

また、会議録の作成に当たりましては速記者に同席をいただいております。どうぞよろしくお願いたします。

そして、本日の発言でございますけれども、発言いただいた方々につきまして後日議事録の確認をお願いいたします。確認後の議事録は区役所のホームページに掲載させていただきます。

また、傍聴の方々につきましては遵守事項をお守りいただきまして、本日の会議に関するアンケートへの御回答もよろしくお願したいと思っております。

次に、本日の参与の出欠状況でございますが、竹田参与に御出席をいただいております。よろしくお願いたします。

続きまして、議事に先立ちまして、区長、石澤から一言御挨拶を申し上げさせていただきます。

区長 皆さん、本日も大変お忙しい中、第4期の宮前区区民会議第5回全体会に御出席いただきまして、まことにありがとうございます。御礼を申し上げたいと思います。

昨年5月に20名の委員でスタートいたしました、この第4期区民会議でございますけれども、きょうで全体会が5回目ということでございまして、企画部会が5回、準備部会が2回、専門部会が10回。これは2つの専門部会がありますので、合わせて10回。さらにはフォーラムを1回開催していただいて、これらを通じて調査、審議を深めていっていただいたと。そういうことでございます。

そういった中で第5回目の全体会議を迎えるんですけれども、きょう事務局で皆さんのお手元に配らせていただいている、この各専門部会の議論ペーパーを、私はおととい事前にいただきまして、きょう御披露していただく中間報告書も含めて拝見いたしました。その中で、この議論ペーパー2つを見ておりましたら、自分なりにちょっと気がついたことがありましたので、ちょっとお話をさせていただきたいと思うんです。

まず、環境を活かした人づくり部会議論ペーパーなんですけれども、こちらは一番右側に課題解決提案の内容・手法（案）がありまして、こちらは4つのテーマがあるんですね。そのテーマをずっと目で追っていきますと、通じるのは環境と緑ということのかな、そんなふうに思いました。

それと、もう1つ、心を育てる地域と世代部会、こちらの議論ペーパーを見ますと、こちらと同じく課題解決提案の内容、手法、この案のところを見ますと、こちらは人とのつながり、そういったことをこちらのテーマから読み取れるかな。そんなように私自身は受けとめました。実はこれは緑と人という形になるんですね。そうしますと、多分皆さんも頭の中に浮かんでくるかなと思うんですけれども、宮前のキャッチフレーズは人が好き、緑が好き、町が好き、そういうことだと思うんですね。ですから、皆さんの1年間の活動で今ここまで到達しているわけなんですけれども、何か宮前のキャッチフレーズと重なったのではないかな。これはもう勝手に私が思っていることなんですけれども、そんなことを感じました。

さらに宮前区の魅力が高まって、地域の皆さんのこの町が好きにつながるように、皆さんの議論、これからの活動に期待をしたいと思います。

簡単ではございますけれども挨拶にかえさせていただきます。

司会（日下部） どうもありがとうございました。

続きまして、本日皆様のお手元に配付してございます資料の確認をさせていただきますと存じます。

まず、1ページ、本日の会議次第でございます。

2 ページが座席表となっております。

3 ページから 9 ページまでが環境を活かした人づくり部会の報告資料になっておりまして、10 ページから 14 ページが心を育てる地域と世代部会の報告資料でございます。

15 ページから 18 ページにかけてフォーラム、アンケートのまとめでございます。

別冊といたしまして第 4 期宮前区区民会議中間報告書。

以上が本日の会議資料でございますけれども、落丁等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

2 議 事

司会（日下部） それでは、ただいまから第 4 期宮前区区民会議第 5 回全体会議を開催させていただきます。これからの進行は委員長をお願いいたします。直本委員長、よろしくをお願いいたします。

直本委員長 委員長の直本です。進行を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。

先ほど区長の御挨拶の中にもありましたように、いろんな部会、企画部会から専門部会を含めまして、もう既に 1 年たってしまったと。何か最初のころはたっぷり時間があるような気がしていたんですが、今になると何か急に慌ただしいという、気分的に押されたような感じも出てきております。

前回、第 4 回の区民会議は 2 月 13 日に行われました。それから約 3 カ月でして、この間にそれぞれの専門部会が各 2 回ずつ開催いたしております。それから、2 月には川崎市内の区民会議の交流会、ほかの各区の方々の活動を含めまして、いろいろ見聞きをさせていただきまして、私どもの宮前区としてのいいところ、それから、宮前区でちょっと足りないな、これはほかの区のほうがいいなといったようなところを含めて、いろいろ見聞きをさせていただきました。

それから、3 月 20 日、これは後ほど御報告させていただきますけれども、通常の形と違うフォーラムを組み込んできているということで、大変何となく忙しい日を過ごしてきておりますが、残り 1 年を切ってきたということで、昨年 1 年間の中間報告をまとめさせていただきました。この中間報告までまとめた経過ですとか内容等につきましては宮崎副委員長から報告させていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

宮崎副委員長 それでは、早速ですが、中間の今日に至った経緯をお話しさせていただければと思います。

お手元にある区民会議中間報告書の 4 ページ目をちょっと見ていただいて、そこか

ら簡単に概要を説明させていただきます。

それぞれの出身の団体、公募委員、区長推薦委員等で20名の委員で調査、審議を行ってまいりまして、4ページの上にありますように事前打ち合わせ会がありました。そこで47の課題が出てきたわけですが、その47の課題を9つの課題に絞り込んだわけですが、その経緯に関してが24ページ、25ページにありますので後でじっくり見ていただければと思っております。

そういった中で9つの課題に絞り込み、その9つの課題から課題をさらに絞り込んで2つの専門部会を立ち上げた次第です。その2つの専門部会というのは、5ページにあります環境を活かした人づくり部会と、心を育てる地域と世代部会の2つでございまして、このそれぞれの課題については今後の過去の経緯等々を含めて、それぞれの部会長からじっくりお話がいただけるのではないかなと考えております。

それでは、2つの部会の部会長さん、環境人部会のほうをまずよろしく申し上げます。

直本委員長 それでは、佐々木部会長からお願いいたします。

佐々木委員 環境人部会の佐々木でございます。よろしく申し上げます。

私たち環境を活かした人づくり部会、略して環境人部会では、今年の9月からこれまで6回の部会を重ねて協議、活動をしてまいりました。最初のころは部会メンバーの共通認識を高めようということで、会議室の議論だけではなくて、実際に宮前区内でどういう環境が生かされているか、現場に出ようということで、例えばきょう中間報告書、こういうカラーの冊子がございますが、この12ページ、13ページの見開きにあるような見学会、例えばここでは水沢の森、宮崎第4公園、とんもり谷戸、平瀬川周辺などの見学会を行ってきました。

また、今年の12月には公園、緑地、並木、花壇を宮前区の地図の中に落とし込んで、緑の分布を視覚的に共通認識しよう、分析しようというようなワークショップも行っております。これらの調査により各委員が共通認識を持った上で現状と課題、そして解決案を持ち寄り、本日この1枚のペーパーにまとめました、この3ページ目、A3サイズのような1枚のシートにまとめたものを発表させていただきたいと思っております。

それでは、早速この3ページの資料に沿って御説明させていただきます。

まず、おさらいとしまして、私ども環境人部会として目指す方向性を決めております。何とかミクスの3本の矢ではございませんが、3つのテーマがございまして、1つ目がスポーツの推進、2つ目が花・緑・川など身近な環境、そして3つ目が区民主体のお祭りという、この3つのテーマを通じて、地域で活躍する人づくりをするというものが私ども環境人部会の大きな方向性でございます。

そのような中で、先ほど申しました各委員からそれぞれ現状の課題、そしてそれに

に対する解決案をそれぞれ1人ずつ持ち寄って、それをまとめたものがこの1枚のシートになっております。

まず、現状と課題でございますけれども、現状としまして、大きくスポーツの推進という区分の中では、昨年度から行われております坂道ウォーキングの開催とか、そういう紹介冊子ということを実際に行っていると。もう1つ、花・緑・川など身近な環境活動の推進という中では少し問題があって、国道沿いの斜面に雑草が繁ったり、火災等の危険がある場所があるとか、あるいは、公園の花壇が荒らされてしまうことがある、花がなくなってしまうことがある。中には公園には花壇もなく、ごみが散乱しているところもあるようだ。そして、子供たちが遊べる場所として冒険あそび場というものが従来より行われておりますが、これももう少し常設型にしてもいいのではないかと。そして、地域まちおこしとして10年以上活動を続けている場所もあるんですが、そういう意味で平瀬川が一番進んでいるかと思いますが、一方、矢上川は余り利用されていないのではないかとというのが現状の認識として挙がってきました。

そして、これの課題に対して、スポーツの推進としては、スポーツといたしてもアスリートが行うスポーツではなく、あくまでも市民の基礎体力を増進するということが課題として上がってきています。昨年度より、その前ですかね、坂道を活用した活動を広げていくことをやっていますが、これをもう少し進めていく必要もあるだろうと。

花・緑・川など身近な環境活動の推進ということでは、区内の自然が少し減少してきているのではないかと。あるいは、実際には整備が行き届いて、結構いい地域資源もあるんですが、残念なことに区民にまだまだ知られていない場所が多いと。そして、あと、公園ということでは地域住民のコミュニティーの場としてもっと有効活用する必要がある。あるいは、愛護会、町内会、自治会等の協力体制づくりがもっと組織的に必要ではないか。そして、公園に対する一般市民の関心がもうちょっと高まったほうがいいかなというような課題が上がってまいりました。

そして、もう1つ課題としては区民主体のお祭りということで、区民が気軽に参加できて、なおかつ宮前区内がバス、鉄道などで多少移動しづらい部分があるんですが、そういうことを感じさせないようなイベントがあってもいいんじゃないかということも課題として挙がっております。

それら具体的な現状と課題を大きく方向性とイメージとしてまとめたものが、この1枚のシートになります。

スポーツの推進としては、健康・体力づくり、指導者の育成、そして坂道の活用。花・緑・川など身近な環境活動の推進としては、ここにあるような緑化推進、公園の管理、河川や湧水の整備、ボランティア団体の育成、ふるさと意識の醸成や定住促進、子供の外遊びの支援等々ございます。そして、先ほど申した区民主体のお祭りの

開催ということを通じて、3本の柱で、地域で活躍する人づくりを進めていこうというのが、私ども環境人部会の中で考えてある方向性、イメージでございます。

実際に、では、それらを解決する案として具体的にどんなことがあるかということをもそれぞれ持ち寄って出しているのが、この右の各案になっております。テーマごとに今回4つに絞っております。

1つは緑化・自然環境保全ということで、例えば緑化の活動とか推進、PRをするために、例えば花いっぱいフェスティバルとか、みやまえマラソンというようなイベントがあってはどうか。公園の維持・管理・活用というテーマの中では、公園管理や公園利用の講習会とかワークショップ等の開催、あるいは冒険あそび場の常設化など、こういうこともあっていいのかなど。水辺の保全・活用というテーマの中では資源を生かすため、宮前区の自然の資源を生かして例えば矢上川の魅力アップ、そういうことを考えていきたい。

もう1つのテーマ、健康づくりという中では、例えば公園体操の開催日を拡大して、さらなる健康づくりを推進していこう、あるいは、坂道ウォーキングを行っておりますが、これのワンデイイベントの開催などをして、もっと市民に周知徹底して広めていこうというような案が上がってきました。今後、環境人部会ではこれらの取り組み、既存の活動の取り組み、この中でも既に行われているものもあるでしょうし、あるいは足りないものもあります。そういうことをさらに調査、分析しながら実際にはもう少し絞り込んで、この中で集約していこうということを計画しております。

現状はこのような状態でございますが、今後、この右のテーマが4つございますが、この中からさらにもう少し絞り込んで具体的に協議を進めていこうということが環境人部会の報告でございます。

直本委員長 ありがとうございます。

質疑は後ほどまとめて行うことにいたしまして、続いて大槻部会長からお願いいたします。

大槻委員 それでは、心を育てる地域と世代部会の報告をいたします。

この部会は町内会あるいは自治会、子ども会の活性化、あるいは子育て、親の地域意識の醸成とか、あるいは子供の教育支援とか、こういうようなものをテーマにいろいろ審議を進めてきたわけでありまして。最近いろいろ後を絶たないいいじめであるとか、あるいは自殺、核家族化であるとかネット社会が進んで希薄な人間関係等々、子供の生きる環境というものはますます厳しくなっていると思うんですね。こういうような子供の心を傷つけないために地域は何をすべきでしょうか。あるいは何に注意すべきでありましょうか。あるいは子供が将来力強く生きるための子供の生きる力を育てるために地域は何ができるだろうかというようなことですね。こういうようなことで家庭教育、学校教育だけではなくて、地域の大人の得意わざによる世代間の交

流、あるいは郷土史、あるいは地域文化の伝承なんかを通して心を育んでいく。そして自分を大切にする、友達を大切にするとか、思いやりであるとか、モラルや公共のマナーとか、当たり前のことができるような支援を進めていかないといけないのではないだろうかというふうなことで、いろいろ進めているわけであります。

A3の資料の10ページに現状、課題解決提案の方向性、課題解決提案の内容・手法とございますけれども、左のほうに現状ということ、まず、学校支援センターがどういうふうになっているだろうかというようなこともいろいろ話していただきました。この様子は、こちらのカラーの中間報告の16ページの下の方に、現況調査の下に①として学校支援センター利用状況のヒアリング調査というものがありますけれども、そういうようなことで、やっぱり人材がいろいろ不足しているとか、あるいは、ニーズとそういう人材とのマッチングの問題とか、そういうようなところで苦労しているとかいうような話がいろいろ出たわけであります。

それから、あと、区内の市立小学校が17校あるわけでありましてけれども、ここを対象にして地域連携・交流、地域人材の活用、現状調査というアンケートを実施したわけでありまして。この内容は、やはりカラーの中間報告の17ページに書いてありますけれども、事業内における地域との連携、あるいは地域人材の活用というようなことで、そこにあるようないろんなことをやっているとか、あるいは授業外でもこういうようなことをやっているとか、いろいろ学校の様子を知ることができたわけでありまして。そういうようなことを踏まえて、今後どういうテーマに絞って実施していくかというようなことを検討しているところでございます。

またA3の資料に戻っていただきまして、そういうような中から課題解決の提案の方向としては、市民活動とかいろんなことがありますけれども、既存の活動や、あるいは場の発展支援というようなことが中心に、いろいろ考えられるのではなかろうかなというようなこととか、あるいは、親子一緒に体験、参加できる場というところで、どういう場がいいだろうか。これが世代間のいろんな交流の場になろうかと思っておりますけれども、そういうふうなこと。あるいは潜在人材の発掘・活用の仕組みづくりをどうしたらいいのかというようなこと等、いろいろ議論してまいりました。

現在は一番右側に課題解決提案の内容・手法というものがあるわけでありましてけれども、ここでのキーワードとしては、心の教育、あるいは世代間の交流、後継者育成というか、文化の伝承とか、そういうようなところがキーワードとして、資料に方向性1～4、その他の意見というようなことでまとめてあります。

方向性1、学校との連携によっていろいろ支援展開ができないだろうかということが1番目でありまして。

方向性2というのは、市民団体のいろんな活動がありますけれども、この辺と連携して、先ほど言ったような教育支援というようなことができないかどうかということ

があります。ここに事例として風の泉がありますけれども、そのほか地域教育会議との連携ということもあろうかと思えます。

方向性3としては、地域史の掘り起こし・まとめ活動を通して心を育むというようなことがあるのではないかと。

方向性4としては、既存イベントへの参加活動を通して心を育む。これは夏休み子ども遊びランドがいろいろやられておりますけれども、そういう場との連携もあるのではないかとというようなことであります。

その他の意見として活動の表彰・元気づけとか、あるいは自然体験機会をふやす取り組みとか、いろいろ出ておりますけれども、こういう中からどういうふうに絞っていくかというのは、これから残された後半の課題として取り組んでまいりたいと思っています。

簡単ですけれども、以上、報告であります。

直本委員長 ありがとうございます。

今、両部会長さんからそれぞれの部会の審議状況等について報告がございました。私も今の報告を改めて聞いて、それぞれの部会に参加しているんですけども、両方とも何かすごくまだまだ課題がいっぱいあって、どうしようかなといったような認識を持つ一方、部会同士の中ではある一定の方向性といいますか、共通認識というものも生まれつつあるのかなというふうにも思っております。

これからそういった方向性ですとか共通認識をもとにいたしまして、具体的に何をどう取り上げて解決を図っていくのかといったようなことを、これから先、考えて方向づけをしていかなければいけない段階に来ているのではないかなというふうに思っています。

まず、各委員さん方も今の御報告を聞いても、では、反対の部会が、自分が所属していないほうの部会が何をやっているのかなということになると、ちょっと想像がぱっとできるかなというところと何か何となく不安に感じるんですが、それについて自分のところの部会の追加説明と、それから、反対のほうの部会について部会長さんからの説明でよくわからないといったことについての御質問とかがありましたら、お願いしたいと思いますが、どなたかございませんか。

それから、御発言はマイクをお配りいたしますので、マイクが届いてから発言をお願いしたいと思っておりますので、申しわけないんですが、発言していただく方は手を挙げていただければと思います。

どなたか……。質問でも結構なんです。反対の部会のわからないという御質問で結構なんです。

では藤田委員、一番端っこにいらっしゃるので……。

藤田委員 私は環境人部会のほうなんです。正直言って、そちらの部会の質問よりも何

よりも、まず自分の部会のほうのあれがまだもう一つクリアになっていないなというふうに、まだ思っているんです。今まで検討してきたテーマといいますか課題、これはもうそれぞれに必要なことで、今の段階では、まだそれをどうまとめようかというところまで来ていないなと思っっているんですね。こんなにたくさんやったらとてもできないなと思っっていますので、どのようにしてまとめるかということを実際に真剣にやりたいなと思っっているんですね。

もう1つが、区民会議の交流会。申しわけない、私は参加しなかったんですが、その中で市長から、この区民会議での課題はそれが解決するまで継続して活動することが重要なんだと。そういう点では、ちょっと錯覚していたのは、今までもう既に1期、2期、3期とございましたので、そこで幾つもの課題に取り組み、それはそれなりに推進されているので、むしろそれ以外のものというふうに一生懸命考えていたんですけども、今回の環境の中にも冒険あそび場とか坂道ウォーキングとか、前の期からの継続もありますので、そういったものも含めてむしろどう継続、実現していくかという観点で絞り込みをするのがいいのかなと私は思っっております。

直本委員長 ありがとうございます。

これからの課題解決の方向づけについての御意見をいただきました。同じく前期もなさいました山下委員、どうでしょう。課題の絞り込みとか、そういったことに関連しまして。

山下委員 私ももう1つの環境人部会の話は別にして、やはり自分のところの部会をまとめないといけないのではないかなという気はしているんですね。本当を言うと。そもそも最初から学校との連携による何か課題の解決、あるいは活動が必要ではないかなということは最初から僕は思っっていたので、まずこれをやはりどうするかということと、それから、あと、地域の歴史の掘り起こし、これは私個人の興味なんですけれども、こんなこともいいのかなという気はしているんです。とにかくうっとこのままというわけにいかないの、とにかく何か方向性を見出すことが必要ではないかなという気はしています。

それと、これのほかに宮前区にはもっと大きな課題が実際にはあるんですよ。率直に申し上げまして。川崎全体から見て宮前区はどうだという課題が必ずあるので。要するに、よその区はどうなっているかということを見ると、宮前区はこうだというのがやはり課題が見えてくるので、その辺を、これは結論は出ませんけれども、やはり宿題としてずっと持っていかなくてはいけないのではないかなという気はしているわけ。だから、そういうことも考えながら、大きな課題を考えるなら、これを1つ1つを解決していく必要があるのではないかなという気はしています。

直本委員長 ありがとうございます。川崎市の中の宮前区の位置づけといいますか、宮前区の状況も川崎市全体からまた見て捉えていったらいいのではないかなといったこ

とについて御発言がありました。

太田委員、何かすごい首をひねっていらっしやいましたけれども、何か……。

太田委員 すみません。話せば話すほどわからなくなっているというのが、ごめんなさい、現状で、何か随分いろんな方向性があるんですけども、やっぱり1つに絞らないといけないような気がするんですが、ちょっと絞り切れないなという思いがあります。

私も、この現状という中の取り組みの、例えば社会福祉協議会に所属していたりとか、結構いろんなもので所属しているんですけども、やっぱり外から声をかけられて何か動くことではないと思うんですね。結局学校でも何でも。だから、中から動いてもらうのが大事なんだと思うんですね。余り外からぎゃあぎゃあ言われて、何言っているのよねという感じがいっぱいあるのではないかと考えている1人でございます。

それで、ごめんなさい。自分のところが大事なんですけども、1つちょっと気になることが環境人部会にあるんですが、区民主体のお祭りの開催。区民主体、これはどんなことをイメージしているのか、ちょっとお聞きしたいなと思って。例えば藤田さんと私はさくら祭りの実行委員を宮崎台でやっています。あと平瀬川もやっていますよね。あと何か所かあると思うんですけども、何か今、結構みんな頑張っているわけですよね。それぞれ。だから、ここで取り上げた区民主体のお祭りの開催というのはどんなものをイメージしていらっしやるのか、ちょっとお聞きしたいと思いました。

済みません、取りとめもつかない発言で失礼いたします。

藤田委員 もちろんこれは部会の統一見解でも何でもなくて、たしかこれは私が申し上げたんですけども、一番身近なものであれば盆踊りです。まさに町内会単位で、その人たちがお祭りを開催する側に回れて日ごろの活動と人との触れ合いができるような、そういう小さな、今、盆踊りは非常にもちろんたくさんやっていると思うんですけども、本当に全部のところまで全町内会がやっているわけではないようにも聞いていますしね。そういうものが本当に全部に、盆踊りに限らないんですけども、あれが1つの一番いいサンプルだと思うんですね。

おっしゃるように、さくら祭りはさくら祭りでそれなりの効果があるので、規模的にそれよりもっと下のレベルがあってもいいのではないかなと考えております。

太田委員 わかりました。ありがとうございます。

佐々木委員 済みません、今のにちょっと重ねてですけども、部会の中でこれはまだ共通認識を持つまでには至っていませんが、私も藤田委員と同じように、例えばさくら祭りを例にとりますと、宮崎台、平瀬川、そして鷺沼商店会と、いろんなところで各地やっているんですが、宮前区として何か統一されたものがないというのを、ちょっ

と個人的には思っております、その中で、例えばここに出ているような花いっぱいフェスタとか、みやまえマラソンとかというような、共通のテーマを持って、宮前区の1カ所ではなくて、どこか1カ所に集まって大きくやるということよりは、各それぞれの地域が自分たちで開催できるようなレベルをさらに連携してネットワークをつくって、でも、それはテーマとして統一しているというものが、ちょっと私の個人的に思っているイメージですが、これから部会の中で話し合っていきます。

太田委員 ありがとうございます。

大槻委員 環境人部会のほうへの提案ですけれども、私の部会の10ページの一番下のほうに自然体験機会をふやす取り組みがあるんですけれども、A3の10ページの一番下、右側の一番下です。これはネイチャーゲームを宮前区の公園でということで、日本ネイチャーゲーム協会ではいろんな活動をやっているようでございますけれども、これをこの環境人部会のA3の3ページの右側のテーマ、公園の活用とか、何かこういうようなところに、どういうテーマに絞るかわかりませんが、もしあれば、そんなようなことがこちらで出ておりましたので、どうぞ取り上げていただければと思います。

佐々木委員 ありがとうございます。ネイチャーゲームについては私も若干情報を持っておりますので、ぜひ我々の部会の中でもいろいろ今後話し合っていきたいと思えます。

直本委員長 そのほかどうでしょう。いろいろと絞り込みについての意見が今たくさん出ているところなんですけれども。

豊島委員 お祭りというと宮前区民祭があるんですけれども、あれは大きなお祭りなんですけど、私が住んでいる有馬の人たちはほとんど知りません。そういうものを行っているというのは。ただ、地域的に、えっ、そんなのやっているの、いやあ、無料バスも出ているんだよ、送迎バスもあるんだよと言っても全く興味がありません。ということは、やっぱりすごい残念だな。あれだけ素晴らしいお祭りなのにと考えると、やっぱり地域、場所とかで、マラソン大会は去年からもずっとやってほしいという声がありました。ただ、どれだけの人、スタッフをそろえて大変だなというので、頓挫ではないけれども、じゃあちょっと無理かなという感じであるので、できればその方向に行っていたらいいかなと思うんですけれども。ただ、あと1年しかないからわからない。

直本委員長 お祭りを中心としたイベントみたいなものが、継続的なものということですね。

豊島委員 お祭りがあるということを知らないというのがすごく残念です。

田浪委員 絞り込みが難しいところだなというのは、すごくやりたいことがいっぱいあって、その中からどこを絞り込んでいくのがというのがすごく今、私も入っている世代

間の部会もそうですし、もう1つの環境人部会もそうなんだなというのも、すごく感じました。

どこも捨てられないところなので、やはり何度もあれなんですけれども、もう既にやっているものにやっぱり乗っかっていくのが……。区民会議という、一応ネームバリューがあるものなので、もちろん地域ごとの活性化という形で小さいものを積み重ねていくのもあれなんですけど、せっかくなので小さいところで行っているところ、ものを区民会議で全面バックアップみたいな形で、もうちょっといろんな地域に知らせてもらえるようなことを主眼に置いて絞り込みをすると、何かできるんじゃないかなど、ちょっと今思っているところです。

何かこれというのが……。

直本委員長 多少何となくこう、みんなこういう方向でまとめなきゃいけないなというところの意識ができてつあるんですが、芒崎委員、白井委員、何か御発言……。

芒崎委員 私もいろいろお手伝いさせていただいて、なかなか難しいなというのが本音です。環境人部会のもそうですし、いろいろな部会があって、いろいろお話は出ているんですが、本当にこうやってきて絞り込みというのが、とても大変な部分はわかりました。

今までに、私たちは4期目ということですので、その前の方たちがもう良いことをやってきていますし、それを引き継ぐというわけではないんですが、同じように広がっていけるのなら、それにも協力して、もっともっとよくなっていくかなということ、ちょっと思ったんですけれどもね。

それと、また、ウォークラリー トークラリーをやってちょっと思ったんですけれども、やはり外へ出て体を使うということは皆さんとても喜んでいましたので、今出ていましたお祭り、そういうものがもう本当に企画案によってはとても素晴らしいものが各地域でできるのではないかなと思いますので、そういうこともまたちょっとやっていって、お手伝いできればなと思って、これからも皆さんの後について協力していければいいなと思っております。

直本委員長 ありがとうございます。ウォークラリー トークラリーにつきましては、また後ほど御報告をさせていただきたいと思っております。

白井委員 今、芒崎さんがおっしゃられたように、本当に範囲が広くて、絞り込みというところまで来たときに、では、何よというのが難しいんですよね。私はこのところ、水沢の森に子供を連れて3回ほど遊びに行きました。行けば行くほど子供も楽しくて、その行ったときに時間の経過とともに景色も大分変わってきたりとかして、その都度楽しんだりしているんですけれども、ああいうところが結構今、西部のほうは遠いものですから、行くのが大変なんだけれども、そういうようなところがもっと近くにできたりとか、将来的に、今、うちのほうは割と大きい農家の方が結構竹林を持

っていたりとかしているんですけども、もう先が見えているという失礼なんですが、それを維持していくことができない。結局相続とかということのために、いずれなくなってっちゃうのかなというのをすごく残念に思えるんですね。やっぱりこういう会議を通じて、何かそういうものを残していけるような方向づけみたいなものがないのかなというのを最近すごく感じています。

直本委員長 ありがとうございます。

それでは、最後に福田委員にも御発言をお願いしたい。

福田委員 私は最近特に強く感じているんですけども、自然環境のことについて考えるとき、やはり宮前区とか、ただ1つの地域だけのことでなくて、自然環境は、やはり宮前区と多摩区、宮前区と高津区というようなグローバルな考え方をしていないとうまくいかないのではないかな。

例えば、私の地域は五所塚なんですけれども、隣の多摩区に最近まで向ヶ丘遊園というものがございました。それが閉園とともに、これは私の土地ということで私有地なんですけど、小田急さんが開発に乗り出して調整、いわゆる宅地化をしてマンション等をつくらんとしております。都市計画決定をして進んでいるわけなんですけれども、これはやはり遊園は多摩区なんです。しかし、多摩区の遊園はほとんど隣の五所塚とか神木とか、そういうところに影響しているわけです。

したがって、宮前区の遊園という感覚で捉えがたいということになると、やはり宮前区と多摩区、宮前区と高津区というようなグローバルな考え方をしていないと、隣にある東高根森林公園などの開発等もあるので、あそこは宮前区と余り関係ないのではないかな、ここは多摩区だ、ここは高津区だよ、おまえたち関係ないのではないかなというような形で仲間が見ているということは非常に寂しい。みんな一緒になって自然保護を、緑を守ろうではないかという運動を、やはりもっと強く前面に出して、川崎市も緑を本当に守るならば、自然を大事にするならば、もう少し本当の意味で大きな視野に立ってやるべきではないんだろうかと感じている次第です。

そういうところをこれにも課題として、花と緑と川などということの中にも少しは出ておりますけれども、では、全体的にどのようなになっているのか。目を広く見ていかないと自然の保護とかというものはできないのではないだろうか。このように感じている次第です。

ちょっとそのようなことを日ごろ感じておりますので、こんなところで発言させていただきまして、僭越でございしますが、ありがとうございます。

直本委員長 ありがとうございます。宮前区の周辺地域との連携も視野に入れての考えも大事ではないかなという御発言がありました。

まだまだこれから課題を絞り込んでいくことにつきましては御意見も多々あるかと思いますが、ここから先につきましては部会でそれぞれまた議論をしていただければ

と思います。

ここで参与の方々、3人の方がお見えになっていただいております、本日こういったようなことで課題が出ておりますが、そういった課題をこれから私どもは絞り込んでいかなければいけないんです。そういった絞り込みですとか、あるいはきょう出ました課題等につきまして、御意見とかお話とかがありましたら、時間が短いんですが、それぞれお願いしたいと思います。

最初に、では、前からということで、竹田参与にお願いしてよろしいでしょうか。

竹田参与 参与として参加をさせていただいております川崎市議の竹田でございます。発言の機会をいただきましてありがとうございます。

ただいまの議論を踏まえまして幾つか意見を述べさせていただきたいと思います。

2つの部会が進んでいるところでございまして、まず、環境を活かした人づくり部会でありますけれども、みやまえマラソンや、お祭りや盆踊り、さまざまな意見が出ておまして、前回の第3期のほうで座間市のマラソンの取り組みの御紹介がありまして、ぜひともやっていきたいみたいな話が出ましたけれども、私もそういった取り組み、区民の方々、大多数を巻き込んで参加をしていく、何百人、何千人単位で巻き込んでいくイベントをしていくことは非常に有効かと思えます。各地域で既に行っているところに付随しても構いませんし、宮前区区民会議としてそういったバックアップができる部分は非常に多様にあるかと思えますので、そういったところ、イベントを通じて多くの方々、区民の方々を巻き込んでいくところを焦点を合わせていければ、今後、方向性は見えていくのかなという部分があります。

そして、心を育てる地域と世代部会についてですけれども、山下委員からもございましたとおり、私も以前、参与として発言させていただいたとおり、やはり学校との連携をとる、図っていくということは非常に重要かと思えます。学校は学校でいろいろと独自のことをやっておりますが、そこに宮前区の経験豊富な方々とともに宮前区の地域のことを学んでいくという取り組みを、どんどんとやっていければと思います。私も宮前区の小中学校を過ごしてきましたけれども、余りそういった機会がなかったなという部分がありますので、せっかくこれまでの宮前区民会議の取り組みとして、みやまえカルタや坂道ウォーキングなどが展開されているところでございまして、そういったことを生かして学校教育とも連携を図って、区民会議の方々とも連携を図ってやっていくと、それも1つの方向性として焦点が絞れていくのかなと思えます。

また、白井委員からも先ほどお話がありましたとおり、区民会議として宮前区の地域に何かを残していくということは、非常にこの宮前区の区民会議の大事なコンセプトの1つであると思うので、そういったことも大前提としてお考えいただければと思います。

それから、こういったことを展開するに当たりましては、やはりお金、予算が必要となります。市議の立場として、議員としての立場として予算、お金のことについてお話をひとつさせていただきたいと思います。

以前もまた私が参与として発言させていただいた、宮前区を初めとして川崎市には7つの区がございまして、川崎市から各区の独自事業の予算というものが約5500万円出ておりまして、区民会議提案の事業につきましても、その5500万円から何百万円、何百万円と出ているところがございます。しかしながら、事実上、ほかの部分におきましては地域活性、防災や、いろいろ重要なところはありますけれども、ほとんど全部の区、同じような金太郎あめ的な政策で、不用額、余りが出ているのが事実でございます。1000万円余しているところもあります。そして何百万円余しているところもあります。そういった不用額というのは一般会計に戻されて補正予算など組まれて、繰り越しなどほかの予算に使われてしまっておるのが実情でございます。

区長、申しわけないですけれども、この不用額というのは必要とある場合には区長の権限で費やせることができるような仕組みになっておりますが、事実上それも余り機能していないというところがあります。これも私、議会で強く訴えておりますが、どんどんとそういったお金が必要なことであれば、区の側は区長に申し上げていただいて予算をとっていただいて、予算があればもっと大きなことができますので、区民会議の事業の拡大としてそれも必要なことだと思います。そこら辺につきましても、私を通じてでも、また区とも直接やりとりしていただいて、予算の面についてもひとつ考えていただきながら、事業の拡大をまたやっていくことの拡大につなげていっていただければと思います。

こんなところですか。ありがとうございました。

直本委員長 ありがとうございました。

それでは、続きまして、石川参与、お願いできますか。

石川参与 どうもありがとうございます。

私は、この環境を活かした人づくりの中で、皆さんも区をいろいろウォーキングとか探検をされてお気づきかと思うんですけれども、宮前区のもう1つの財産で、農地あるいは植木の、そういう農家がまだたくさん宮前区には残っておりまして、私もよく地域の方から市民農園だとか、そういうものを何とか生かせないかというふうなお話をされるので、なかなかこれは法律の問題があって、1年2年ですぐ解決する問題ではないかと思っておりますけれども、やはり生産者の方とも協力をして、何とかそれを区民の力、あるいは市民の力で残せないものかなんていうことも、少し私の頭の中には重要なテーマとしてあるんですけれども、ぜひそんなところにも目を向けて一緒に考えていただけたらなというのが1つ。

あと、心を育てる地域と世代部会のほうですけれども、場づくりということが提起

をされておりますが、場というのは1つの施設ということもあるでしょうし、集う機会という両方の意味があるかと思うんですが、実は世田谷に前お邪魔したときに、少し古くなった、高齢化してしまって持ち主がいなくなってしまったおうちを、行政がいろんな地域の団体やNPOの方々にコーディネートというかお見合いをして、安くそこを貸してあげるとか、そういう中でいろんな、立派な施設ではないんですが、一軒家、民家みたいなところが、その地域がいろいろ使えるような共同の施設になっている。行政も余りお金を出さなくても済んでいるというお話でした。

ちょっと詳しくはお話できませんけれども、住民の方にも協力していただいて、何かそういう場づくりというか。集まる場をつくるということは、そういう機会をつくることにも結びついていく大切な要素だと思いますし、また、宮前区はそういう公共施設が非常に少ない地域でもありますから、ぜひそんなことも皆さんに情報提供を、これから私も勉強して検討していただければ、地域に帰ってそれぞれの活動にお役に立つのではないかなと思っています。

直本委員長 ありがとうございます。

それでは、持田県議、お願いいたします。

持田参与 すみません、大変遅くなりましたことをおわび申し上げたいと思います。

また、今、皆様方がお話をなされておまして、私は本当に少しの部分しかお聞かせいただけていないんですけれども、ですから、的を射ない話になることもあろうかと思えます。

まず、宮前区ですけれども、地域として分けると3つぐらいの地域に分けられるのかな。まずは田園都市線沿線の区画整理を施されたところ、それから、向丘地域の平瀬川を中心とした自然を生かした町ができていて、それから、野川方面、東有馬方面、こちらも区画整理がなされていないということでもあります。この3地区があるかなと思うんです。

また一方では、宮前区に大勢の方々がお住まいいただいて、今、22万2000余、多くの方々がお住まいいただいております。これはなぜかなと、ふと思えますと、私は利便性豊かな地域であるからと思うんですね。東京に近いということで。それで、先ほども出ておりましたけれども、農地の話がありましたし、あるいは公園ということもございました。もう一方では、まだまだおかげで川崎市は人口がふえ続けるということで、2040年ごろになりますと県下の各それぞれの市町村、もう川崎市以外は全て人口は減に向かうわけですね。ですけれども、2040年には川崎市全体ではまだ人口増、こういう予測がなされています。ということは、それだけ本当に利便性が豊かであるというあかしであるかなと思いますが、どこかで分岐点があろうと思うんですね。

というのは、利便性だけでなく、これから人口が落ちついてまいりますと、やはり自然というもの、おおらかな中に身を置いてということは誰しもが望まれることで

はないかと思うんですね。といったときに、先ほどの農地とかそういうものが、よりクローズアップされてくるのかなと思うんですね。ですから、そういう兼ね合いというものをしっかりと見据えていかななくてはいけないのかなと思いますし、また、イベント等々でも今、3地区に分けた中での、そうした詳細にわたってのイベント、それから、区全体の中で区民の方々がニーズとして総体の中で欲せられるようなイベント、こういうものを分けながら考えていくと、おのずと全体のイベントはどういうイベントにしたらいいのかなとか、こういうことがあろうかと思うんですね。

先般、県西のほうへ行ってまいりました。県央、県西でもいろいろお考えがあるようであります。それは観光1つ見ても県下の中で県西というと、まず思い浮かぶのが箱根であります。箱根地域は観光では本当に抜きんでております。ですけれども、ほかの小さな松田町とか南足柄とか、あるいは清川村へ行きますとダムがありますね。こういうところで何か自分たちの市町村で特徴づけをしたいという意向もございませう。しかし、なかなか何かターゲットとなるところをお持ちでないところは難しさがあるんですね。フォトコンテストをやって少し盛り上げていこう、県民の方々にこの地域を理解してもらおう、こういうイベントを行いましたり、あるいは、今度は観光ということにテーマを絞ると一市町村ですぐに考えがちなんですけれども、そうでないと。県央、県西で全体の中で周遊という意味合いで、この観光もお互いに協力をしていこうではないか。こういうことも今やられております。

ですから、一方では中から見る、市町村から見る自分たちの地域と、フォトコンテストで、フォトコンテストというと大体この地域の方々がいろいろな名所へ行って、市内の方々が写真をお撮りになってくるんですけれども、私はこういう意見を発言させてもらいます。せっかくフォトコンテストをやられるのであるのならば、逆に、このフォトコンテストに応募していただけた方々はどうでしたか、その市町村内にお住まいの方でした、外部の方でした、それをお聞きしましたら、いや、その把握がないんですということなんですね。私はそうでなくて、外の方がこの地域を見たときにどういう思いをされているのかな、どういうところにターゲットを置かれているのかな、絞り込みがあるのかな、この目、視線というものも大切でないのかなと。そんなふうにも思いました。先ほど福田委員からもお話がありました、いろいろな地域を越えて、区を越えてということでもあります。そういったときに、本当に区境というのはなかなか利用しがたい地域もありますけれども、市全体としてどういうイメージアップを図っていくのかというのも、これも大切であるのかなと。先ほどの御意見がございましたけれども、まさしく区の議論から、第4期ということでもあります。それぞれ区で議論されておりますことを、いつかは今度、川崎市全体の議論として持ち上げていただくというのも、これも大切かなと思っております。

なかなかきょうのテーマに即さない話になってしまったかと思っておりますけれども、あ

りがとうございます。

直本委員長 大変ありがとうございました。

まだまだお話を本当はお聞きしたいんですが、時間がございませんので、3人の参与の方にお話しいただきましたこと、それから、区長の御挨拶の中にもございました緑と人とかといった、それぞれのいろんな考え方を私どもは真摯に受けとめて、これから先の課題解決へ向けて取り組んでいきたいと思えます。

では、課題のことにつきましては一応ここまでにいたしまして、この先、3月20日に開催いたしました、一般区民の方も巻き込んで参加していただいたフォーラムということで、区民会議始まって以来初となる取り組みを行いました。それにつきましては黒沢副委員長から説明をさせていただきます。

黒沢副委員長 3月20日、水曜日、祝日、この日にウォークラリー トークラリーというものを計画いたしまして実施いたしました。そのときの写真がかなりありますので、これを見ていただいたほうが理解が早いかなと思います。

(ディスプレイに写真を表示し、説明)

当日約70名の方に集まっていたいただきましたが、宮崎台コースと鷺沼コースにわかれまして、そこに各班が10時に集合いたしました。二、三時間のウォーキングをして区役所に集まる、そういう仕掛けで実施いたしました。

では、1枚目の写真からいきましょうか。これは宮崎台駅前に集合したときの模様の写真でございます。本日のコースとか注意事項がありまして、それから歩き出しました。

これは駅前の花壇ですね。ここも非常に手入れがよくされております。花の好きな方のグループが、もう一生懸命手入れして、いつ行っても花があるような風景でございます。

次にいきます。桜の木の下をずっと歩かまして、長坂のほうから、次は向こうのほうへ歩き出した風景でございます。

それから、これは宮崎台小学校の横にコミュニティーガーデンがございまして、なかなかかなり広い面積の土地なのでございますが、そこにいろいろ花を植えたりハーブを植えたりしまして、ハーブティーをごちそうになりました。何かもうハーブのストックが少しなくなっちゃったので、皆さん十分行き渡らなかったかなんていう話もありましたけれども、いろんなハーブティーの味を楽しむことができました。

次は、これはへび坂を通りまして区役所方面に歩き出したところでございます。

これは宮崎第4公園で、ここでは太極拳とかラジオ体操とか、かなりいろんな利用されている方がいらっしゃるようでございます。その公園を一周しまして、こんな林がある、こんな坂道があるなんていうことを話しながら、これも第4公園のほうですね。

次へいきます。これで区役所に帰ってまいりました。

次は鷺沼コース。ここでは東急の鷺沼駅の前に同じく10時に集まりまして、説明をいただいてから、ぞろりぞろりと。

これは下のほうのフロンターレのところポールウォーキングの実習を、講習を受けまして体験をいたしましたところでございます。これは皆さん大変おもしろがってやられて、ぐるぐるぐるぐる歩き方を練習されていたようですけれども、これは楽しいわいなんで言ってね。いろいろなこういう初めての体験をされた方が多かったと思います。

そんなことをしてから、またぶらりぶらりと歩き出しまして、次は鷺沼北公園。山頂でございます。ここに二等三角点、海拔が84メートルぐらいありまして、そこまで歩かしまして、そこからの眺めを楽しんだのでございますが、実はあいにく曇天で、東京方面は何も見えない。富士山も見えない。ちょっとがっかりしたようなわけですが、これはぜひ天気のいい日にまた散歩をしてください。非常に眺めがいいところでございます。

途中でいろいろクイズが出ているポイントがございまして、そこで皆さん頭をひねったりして区役所まで歩きました。

区役所へ到着、万歳ということで記念撮影でございます。

それから、4階のほうでカルタ大会をやりました。これは、みやまえカルタができましたので、これを皆さんにやはりいろいろ覚えてもらおうということで、これは大人も子供も始めると必死になってやるので、おもしろい。これはまだ販売していますね。何か1000円ぐらいで販売しているそうですから、興味のある方はぜひ購入されて、宮前区というところをいろいろ覚えていただきたいと思います。

これは委員長から、これからトークラリーをやろうかということで。実は、時間がちょっと短かったので十分なお話し合いができなかったと思うんですけれども、でも、やはりいろんな各地の話題が出たり、きょうのイベントについていろいろお話ができました。非常に和気あいあいとした会合でございました。

それから、表彰だ。区長みずから表彰式に出ていただきまして、優勝チーム、その他に記念品を差し上げました。私も何か一言言ったかな。それも忘れてしまいましたけれども、閉会の言葉です。

以上で無事に、けが人もなく終わりました盛況だったということでございます。

これは現場の写真でございます。

あと、参加者の皆さんからの意見をいろいろいただきまして、その集計、アンケートの中の抜粋をちょっと申し上げますと、「鷺沼公園の三角点という言葉は初めて知った」と。こういう新しい発見があったとか、こういう街路、緑の保全をしている方々が非常に多いので、ぜひこれは協力したい。それから、「いろんなボランティア

をしていらっしゃる方々がいる」。それから、「ポールウォーキングは気に入ったので続けてやってみたい」、「みやまえカルタに詠まれているところを歩いてみたい」、「参加者募集の方法にちょっと工夫が必要かな」。「今回の人数は少なかったんですが、とにかくそれはそれで無事でよかった」、「トークラリーでよい交流ができて、時間がちょっと短かったんだけど大変有意義であった」、そのような意見をいただきました。

区民会議の認知度の向上については、この間、名刺をつくっていただきまして、これをぜひ活用して各場所にPRしていただきたいということです。それから、「区のイベントや会議には積極的に出る」。広報の仕方にちょっと一考、「区の広報にいろいろ取り上げて、もっと取り上げてもらおう」とか、「著名人やタレントを連れてきてやったらどうか」、「各団体の総会等でPRする」、「各出身団体からも区民会議に参加してもらおうじゃないかと呼びかけよう」、「いろいろ計画したら必ずこれは実行することが大切である」、それから、「2部会の委員会になっておりますが、これはなかなか関連性は両方ともございますので、日ごろからの意思疎通を図って進めていきたい」、そのような意見がございました。

以上、ウォークラリー トークラリーの報告でございます。ありがとうございます。

直本委員長 ありがとうございます。

今、報告いたしましたように、区民会議のフォーラム、ウォークラリー トークラリーは大変評判がよくて、参加者の方も大変喜んでいただけたんですが、これは企画運営、コンサルのカイトさんのほうで大変いろいろ苦勞をして、何回も手直ししたり、実地見学を実施、下調べをしたり、大変苦勞していただいてこぎつけたというところなんですが、何かつけ加えて岩下さんのほうで……。いいですか。

ということで、大変私どもとしては感謝を申し上げるということで、区民会議のフォーラムの説明を終了させていただきたいと思います。

それでは、以上のような状況が第4期の前半部になります。これから後半部に向けて区民会議としては取り組んでいくことになります。したがって、また来年の3月ごろに、また何らかの形で区民会議の報告をする機会を持つことになると思いますが、この報告につきましては、どのような形でいつ持つかということにつきましては、まだちょっと期間もありますので、何か御意見等ございましたら、きょうというわけにもいかないでしょうから、これからそれぞれ部会があるかと思っておりますので、部会の席でそういったことを踏まえて、次回のフォーラムをどんな内容でどういう形で行ったらいいかということも考えながら部会に臨んでいただければと思っております。

それでは、以上で大体区民会議の本日の議事については終わりにさせていただきます。

と思いますが、特に御意見、ちょっと言いそびれたので、この際という方はいらっ
しゃいますか。

それでは、本日は以上で区民会議を終わりにさせていただきます。

区民会議だよりにつきましては6月に回覧させていただく予定で、もう原稿はでき
ているようでございますので、その中で本日説明いたしましたフォーラムについても
御報告をさせていただいておりますので、御確認をいただきたいと思います。

それでは、今後の部会等の日程、その他につきまして事務局から事務連絡をお願い
したいと思います。よろしくお願ひいたします。

(事務局事務連絡)

3 閉 会

直本委員長 今の事務局の説明をもちまして区民会議の審議を終了いたします。

副区長、よろしくお願ひいたします。

司会（日下部） 直本委員長、長時間にわたりましてありがとうございました。皆様も本
日、大変長時間にわたりまして活発に御議論いただき、まことにありがとうございました。
した。

これにて本日は終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

午後7時45分閉会